

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
倉橋節也

教育の責任

本年度担当する科目は、以下の表となる。これらの科目は、学部生を対象とした経営情報学部現代ビジネスモデルを主とした科目である。いずれも、大学の3つのポリシーに示される教育方針および教育目標に基づいて授業の設計を行うようにし、この前提に基づき、教育理念が実現できるよう教育の方法等を工夫している。

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分(カリキュラムに おける位置づけ)
データ分析と統計 1	2-4	9	講義	選択必修	ビジネススキル科目
企業論	2-4	4	講義	選択	専門科目
情報と社会	1-4	35	講義	必修	基礎科目
AI・データサイエンス概論	1-4	30	講義	選択必修	総合科目
データ分析と統計 2	2-4	9	講義	選択必修	ビジネススキル科目
組織論	2-4	9	講義	選択	専門科目

※受講人数は推定人数

教育の理念

学生一人一人の問題意識に根ざした主体的な学びを促進する教育を通して、学生が自ら学びたいという動機をもち、能動的に学ぶ楽しさを知ることができるような教育を目指している。ビジネス関連の教育は、とすれば企業経営法や組織管理法といった実務面に焦点を当てるように感じられるが、社会の主要な構成要素である企業が、どのようにしたら人々が文化的経済的に豊かに生活することができるような活動が行えるのかを主目的とした教育を行う。

教育の方法

講義 50%、演習 50%を基本として、特に演習課題を学生が発表し、ディスカッションをするような時間配分を行っている。また、特論科目では、シミュレータを用いて、対象課題の目的を達成するための分析ツールの開発、背景知識の調査、グループワークによる調整能力、プレゼンテーションなどを、総合的に学ぶことができるように工夫を行っている。

教育の成果 および 今後の目標

企業論・組織論においては、対象とする組織を設定し、それに対する経営分析と戦略立案について、学生同士でグループディスカッションを行い、共同で分析・立案・発表ができるような講義方を実施した。中間発表の時点で、事業ドメイン設定やプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント分析、競争戦略の立案などが学生同士の共同作業で作成、プレゼンテーションが実施された。また、学生自身による経営シミュレータの操作により、経営分析やビジネスモデルの提案が行えるような講義構成を創造していくことを目標としている。最終発表に向けて、今後の進展をサポートする予定である。

データ分析と統計 1 および 2、情報と社会、AI・データサイエンス概論においては、基礎的な講義に加えて演習に取り組む時間を設け、具体的なデータ分析を体験すること、またグループワークによって、自ら選んだデータに対する分析思考と分析技術を体得することを目指している。

参考資料

3つのポリシー

<https://www.japan-iu.ac.jp/about/policy3/>

シミュレーション経営学

<https://www.ne.jp/asahi/kurahashi/setsuya/gssm/index.html>